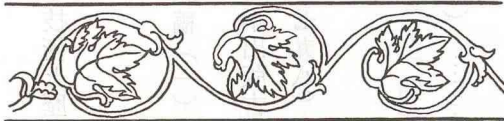


早 稲 田 大 学

図 書 館 紀 要

第 28 号



W L I 考

奥 島 孝 康

新中央図書館の着工にあたり、W L I（早稲田大学ライブラリー・アイデンティティ）の確立が急がれる。それは、ある意味で、新中央図書館の機能を規定することにもなる。しかし、だからといって、W L Iは思いつきから生れてはならない。本大学の歴史と伝統が自ずと産みだすものでなければならぬ。

もとより、新中央図書館は、研究教育の最大の「インフラストラクチャー」であるのみならず、全教職員・全学生・全校友にとつての「フォーラム」であり、「センターオアシス」でなければならぬ。その意味では、館蔵資料と館員サービスとの質の向上こそW L Iの中心課題である。新中央図書館のW L Iは、「開かれた真理の杜」に相応しい、「インテレクトチュアル・フォーラム」のイメージを基礎として構築すべきであろう。

昭和 62 年 12 月